

横浜市新型コロナウイルス対策本部 対策本部会議

令和4年7月8日（金）

16:30 ~ 17:00

市庁舎10階 本部会議室

次 第

- 1 市内の状況
 - (1) 感染発生等の状況 ＜感染症対策チーム＞ 【資料1】
 - (2) 感染者の療養状況と症状 ＜病床・医療提供体制確保チーム＞ 【資料2】
 - (3) 病床使用状況 【資料3】
 - (4) 横浜はじめ病院（横浜市コロナ専門病院） 【資料4】
 - (5) 救急搬送の状況 ＜消防局＞ 【資料5】
 - (6) 保育所等における感染発生等の状況 ＜こども青少年局＞ 【資料6】
 - (7) 学校の対応 ＜教育委員会事務局＞ 【資料7】
- 2 感染が疑われる方及び陽性者への対応 ＜感染症対策チーム＞
 - (1) コールセンターの体制 【資料8】
 - (2) 検査・診療可能な医療機関の数 【資料9】
 - (3) 自宅療養者への対応について 【資料10】
 - (4) 高齢者施設への対策強化 【資料11】
- 3 ワクチン接種の状況 ＜ワクチン接種特別チーム＞
 - (1) 横浜市のワクチン接種状況 【資料12】
 - (2) 直近2週間の年代別新規感染者数と3回目ワクチン接種率 【資料13】
 - (3) ワクチン接種促進の取組 【資料14】
- 4 対策のポイント 【資料15】
- 5 本部長指示・市長メッセージ

(1) 感染発生等の状況

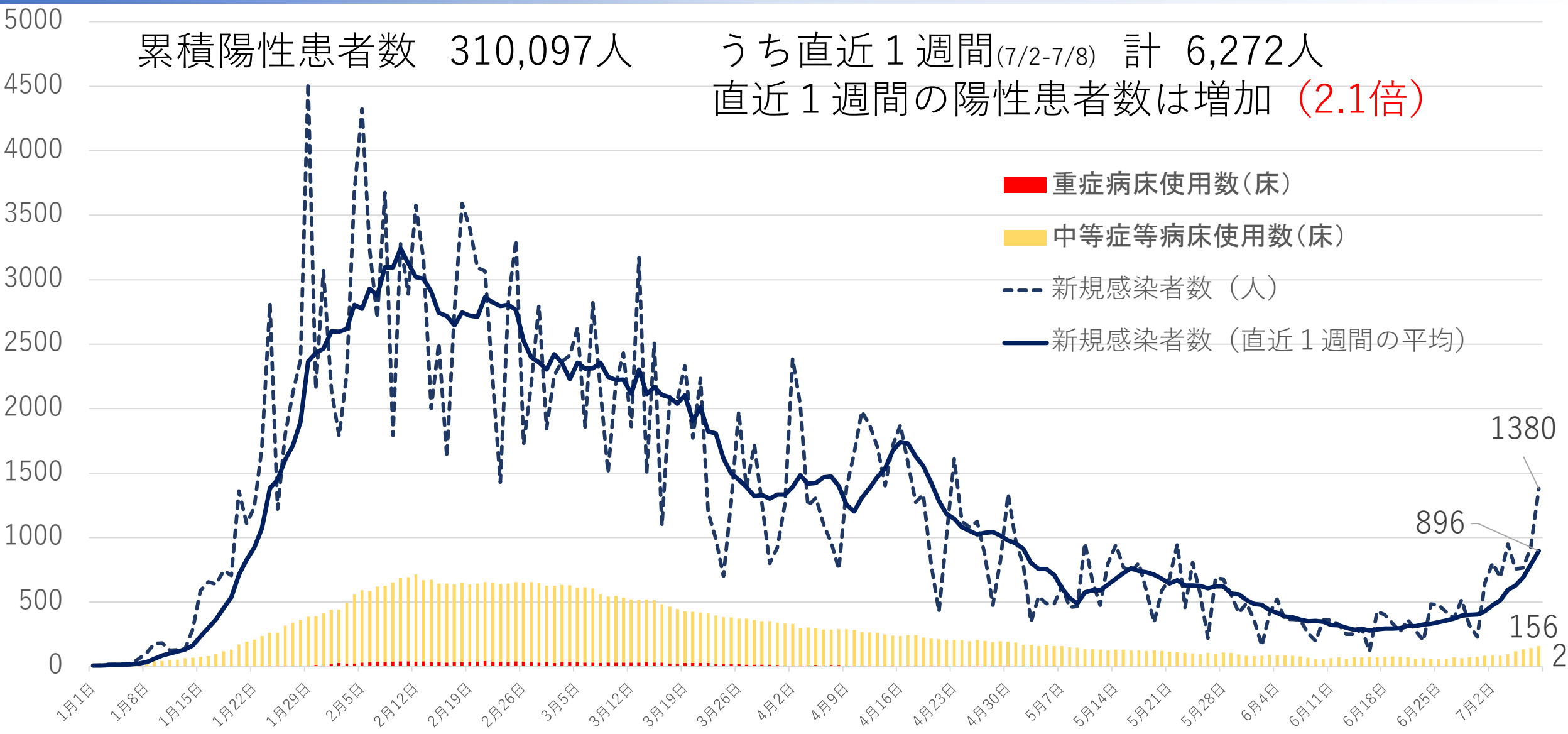
(令和4年7月8日時点 速報値)

【資料1】
<感染症対策チーム>

累積陽性患者数 310,097人

うち直近1週間(7/2-7/8) 計 6,272人

直近1週間の陽性患者数は増加 (2.1倍)



※新規陽性患者数は、本市公表分（本市に届出があったもの）。病床使用数は、市内のコロナ患者受け入れ医療機関からの報告。

(2) 感染者の療養状況と症状

(1) 感染者の療養状況

	7月8日	7月1日	6月24日
入院中	158人	83人	62人
宿泊療養中	165人	110人	90人
自宅療養中	8,987人	4,533人	2,910人
合計	9,310人	4,726人	3,062人

(2) 新規感染者の症状別人数

	7月8日	7月1日	6月24日
重症	0人 (0.0%)	1人 (0.1%)	0人 (0.0%)
中等症	5人 (0.4%)	3人 (0.5%)	1人 (0.1%)
軽症	1,367人 (99.1%)	636人 (98.0%)	461人 (95.1%)
無症状	4人 (0.3%)	2人 (0.3%)	4人 (0.8%)
調査中	4人 (0.3%)	7人 (1.1%)	19人 (4.0%)
合計	1,380人 (100%)	649人 (100%)	485人 (100%)

(3) 病床使用状況

(1) 陽性患者用確保病床数

	7月8日時点
最大確保病床数 (うち、重症用病床)	888床 (101床)

(2) 病床使用状況

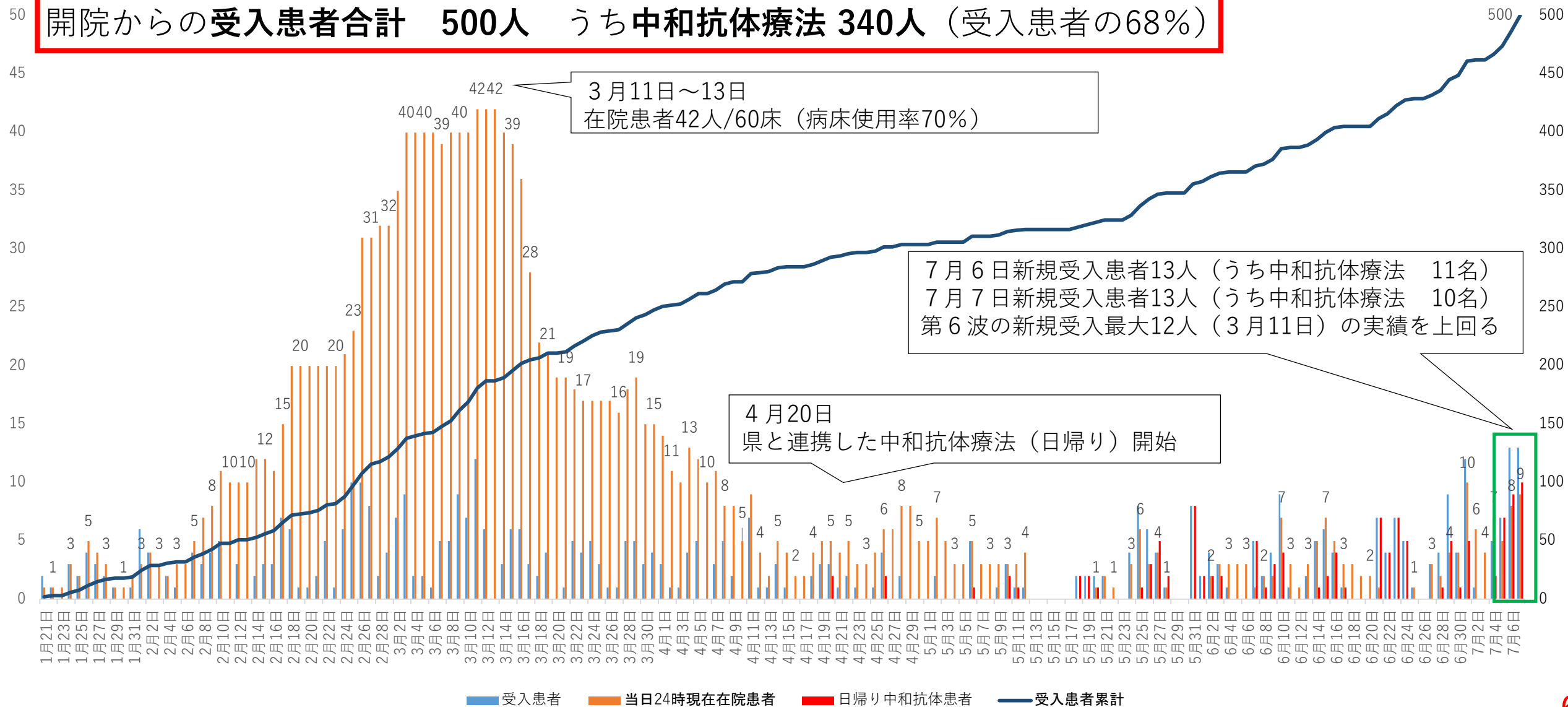
	7月8日	7月1日	6月24日
病床使用数 (使用率)	158床 (17.8%)	83床 (9.5%)	62床 (7.1%)
うち重症用病床数 (使用率)	2床 (2.0%)	3床 (3.0%)	1床 (1.0%)

※7/1時点の最大確保病床数 875床

(4) 横浜はじめ病院（横浜市コロナ専門病院）

【資料4】
 < 病床・医療提供体制確保チーム >

患者受入実績（7月7日時点）
 開院からの**受入患者合計 500人** うち**中和抗体療法 340人**（受入患者の68%）



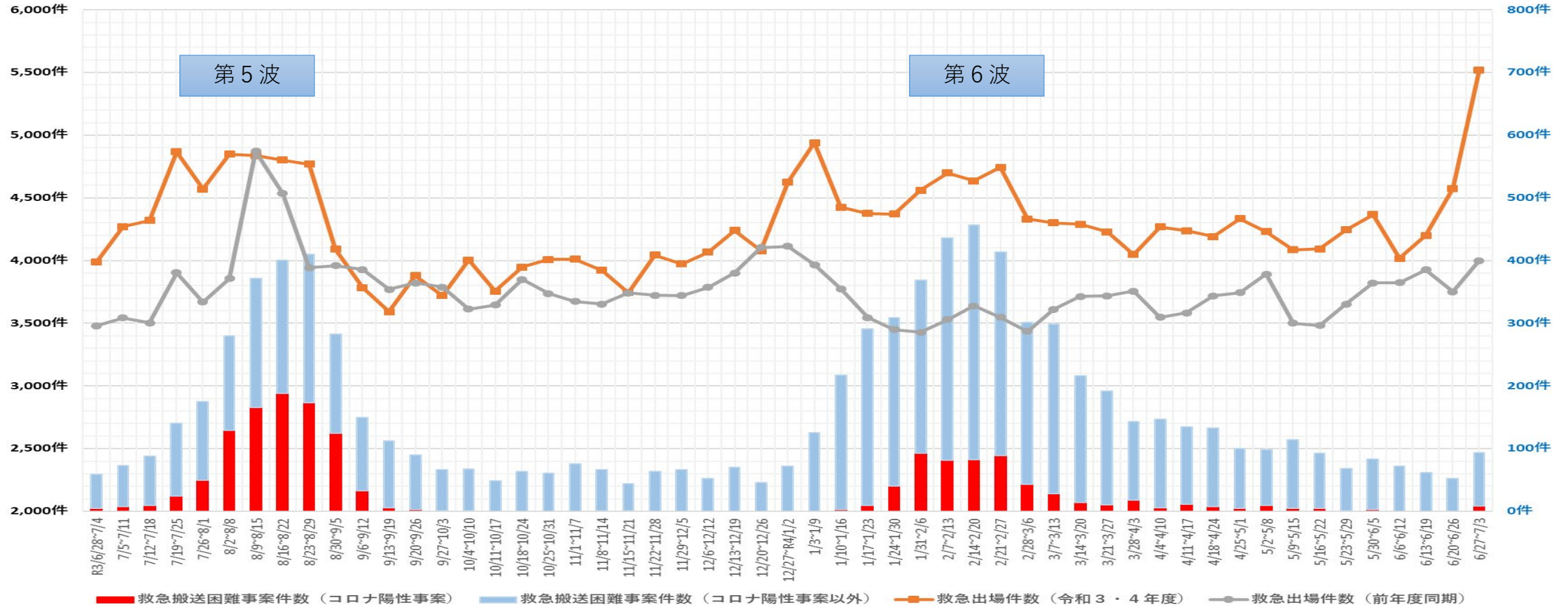
(5) 救急搬送の状況

1週間あたりの救急搬送等の状況【令和4年7月4日現在：速報値】

救急出場件数 (件)

＜救急出場件数及び救急搬送困難事案の推移＞

救急搬送困難事案件数 (件)

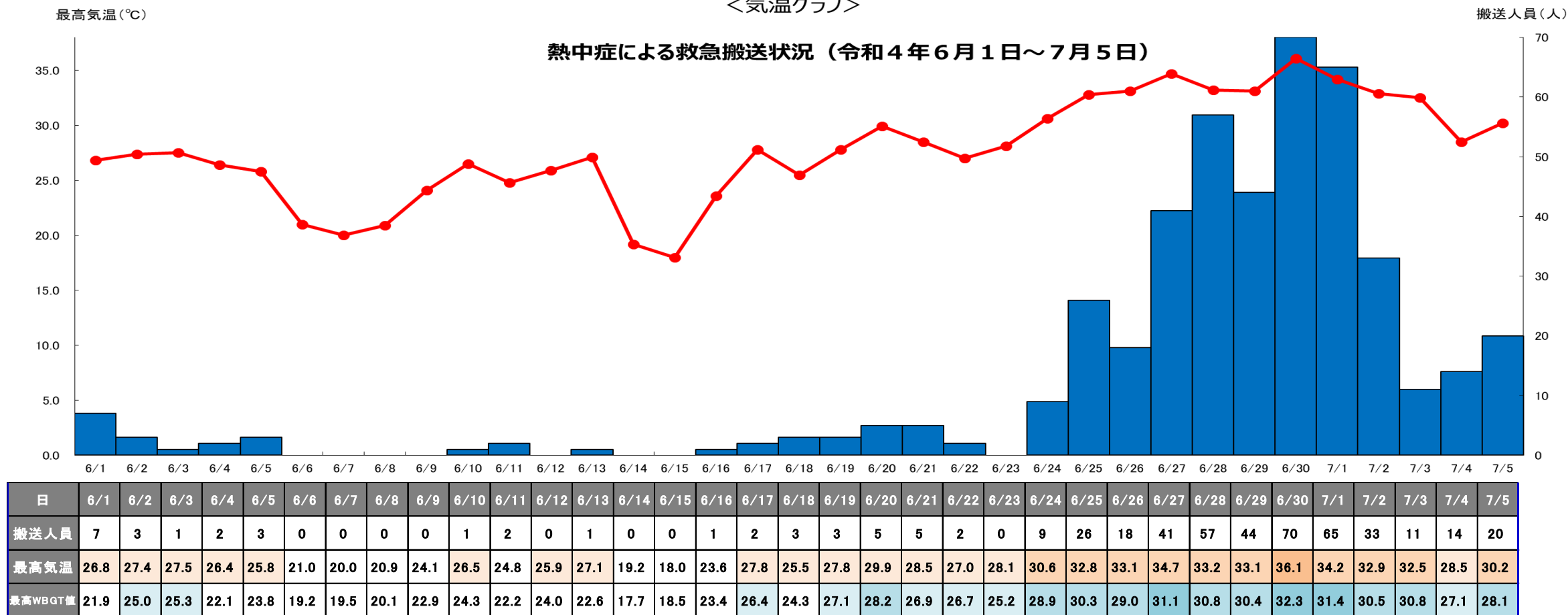


- ※ 消防局では、7月4日以降、連日、臨時的に救急隊を6隊程度編成し、救急搬送体制を強化
- ※ 救急搬送困難事案：救急隊による医療機関への受入照会回数4回以上かつ現場滞在時間30分以上の事案
- ※ 数値は速報値のため、今後変動することがあります。

(5) 救急搬送の状況

熱中症による救急搬送の状況【令和4年7月6日現在：速報値】

<気温グラフ>



※ 熱中症による救急搬送人員は、5月は43人、6月は306人、7月（5日まで）は143人の計492人

※ WBGT値（暑さ指数）とは、①湿度、②日射・輻射など周辺の熱環境、③気温の3つを取り入れた指標
（危険：31以上、嚴重警戒：28～31、警戒：25～28、注意：25未満）

※ 数値は速報値のため、今後変動することがあります。

(6) 保育所等における感染発生等の状況

① 令和3年8月以降の感染発生等の状況（令和4年7月6日現在）

		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
感染者数	園児	398人	102人	18人	3人	4人	898人	3,258人	2,769人	1,503人	737人	497人	148人
	職員	303人	27人	2人	1人	4人	440人	1,333人	862人	475人	201人	121人	48人
休園数（※1）		259園	46園	17園	3園	6園	481園	971園	898園	581園	287園	64園	14園

※1 休園数・・・園児・職員の感染確認により、1日以上休園した園数（一部休園含む）

※2 6月6日以降休園の取扱いを変更し、従来は陽性者の最終登園日翌日から7日間を休園期間としていたが、変更後は濃厚接触者を特定するまでの期間とし、対象範囲も該当クラスのみに限定した取扱いとした。

6月6日以降、休園の取扱いを変更※2

② 直近の週別感染者数と休園数（令和4年7月6日現在）

		4/18～	4/25～	5/2～	5/9～	5/16～	5/23～	5/30～	6/6～	6/13～	6/20～	6/27～	7/4～
感染者数	園児	301人	180人	96人	248人	214人	122人	109人	82人	102人	111人	181人	96人
	職員	73人	56人	20人	78人	47人	40人	33人	15人	27人	34人	33人	39人
休園数		123園	79園	35園	83園	95園	52園	44園	7園	13園	11園	10園	9園

・感染者数は、2月をピークに減少傾向にあったが、6月中旬以降、増加傾向にある。

(7)学校の対応

<市立学校の感染状況>

- ・児童生徒の感染者数について、感染者数は2月14日の週をピークに減少傾向であったが、6月下旬からの市中の感染拡大に伴い、児童生徒の感染者数も増加している。
- ・1週間単位でみると、6月13日の週で286人まで減少したが、20日の週で351人、27日の週で511人、7月4日～7日で994人となっている。
- ・学級閉鎖は5月の大型連休以降、6月下旬までは0～8学級で推移していたが、7月7日現在16学級となっている。
- ・学びの保障や「居場所」を確保する観点から、2月9日以降の学級閉鎖の基準※を継続する。

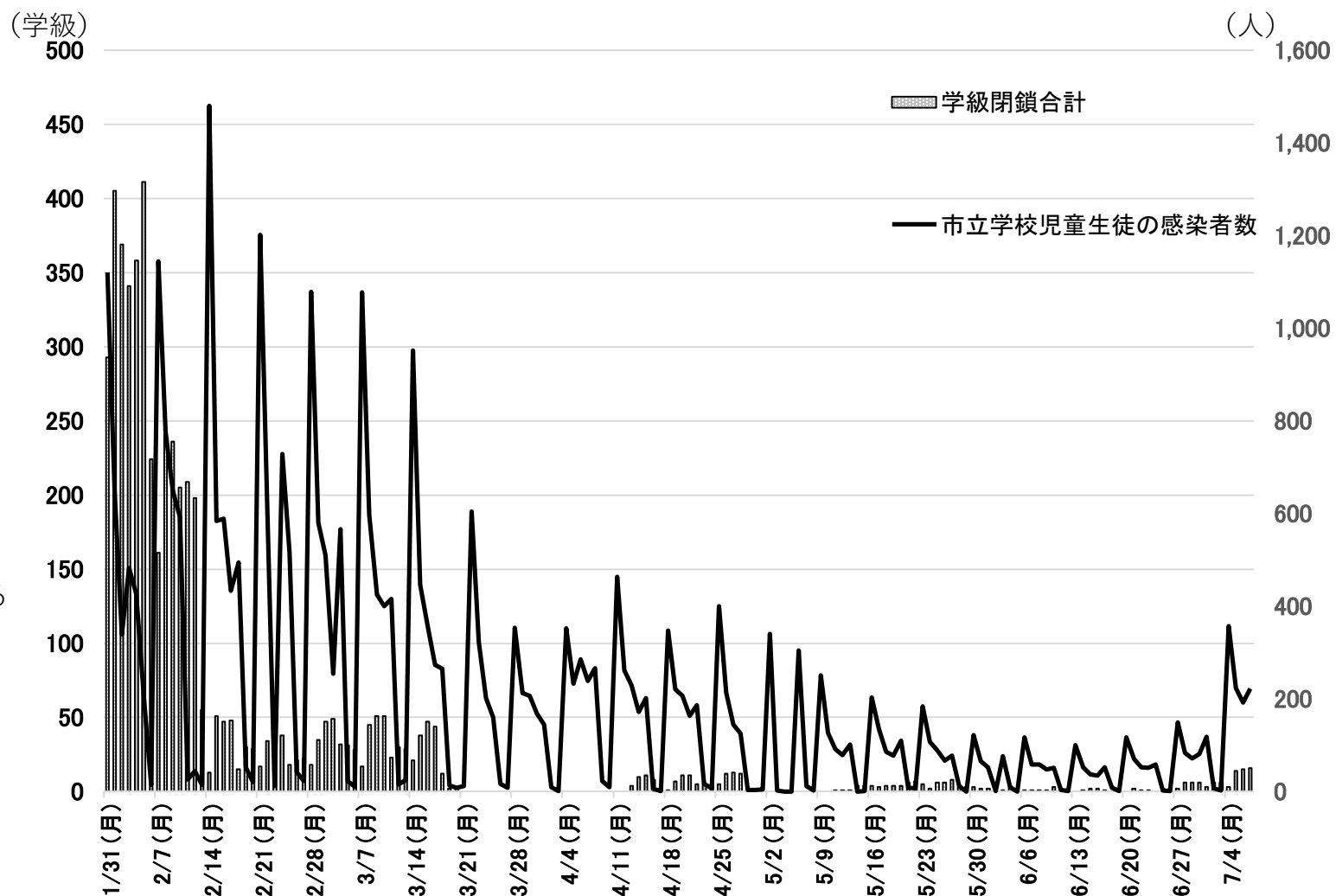
※学級閉鎖の基準

- ① 3名以上の感染が判明した場合
- ② 2名の感染が判明するとともに、複数名に発熱等風邪症状・濃厚接触者があり、両者の合計が15%を上回った場合
- ③ その他教育委員会が認めた場合

<市立学校の感染症対策・熱中症対策>

- ・基本的な感染症対策を行い学校教育活動を継続する。
- ・換気扇による換気だけでなく、休み時間に窓開けするなど換気対策を徹底する。
- ・教職員について、風邪症状時や、夏季休業後に学校へ出勤する際等にも、抗原検査キットを積極的に活用する。
- ・熱中症の被害も懸念されており、熱中症は命に関わる危険があることを踏まえ、屋内外に関わらず、熱中症への対策を優先させる。
- ・「市立学校 熱中症対策ガイドライン」を5月に改訂し、学校に周知した。また、児童生徒のマスクの着脱について、「暑さ指数(WBGT) 21℃以上の場合、運動時はマスクを外すこと」「登下校中は、人との距離を十分に保つよう注意すること、なるべく会話をしないこと等に気を付けて、マスクを外すこと」を指導することとした。

市立小・中学校の学校学級閉鎖数(一般級)の推移
 及び市立学校児童生徒の感染者数(※報告日で集計)
 令和4年1月31日(月)～令和4年7月7日(木)



(1) コールセンターの体制

○横浜市新型コロナウイルス感染症コールセンター対応状況

<概要>

- ・ 24時間 100回線を用意
- ・ オペレーター数の増員

第6波時（R4.1～R4.4）
と同程度増強

※1回線に複数のオペレーターを配置し、記録作成等に要する回線の待機時間を縮小するための体制を整えています。

- ・ 直近の応答率（対応完了件数/合計着信件数）
92.0%（7月6日）

（参考）直近1週間の応答率平均89.1%（6月の月平均応答率89.6%）

	6/30 (木)	7/1(金)	7/2(土)	7/3(日)	7/4(月)	7/5(火)	7/6(水)
入電件数(件)	836	808	820	981	1724	1473	1802
応答率(%)	91.0	89.9	89.0	85.7	85.3	90.7	92.0

(2) 検査・診療可能な医療機関の数

○市内で検査が受けられる医療機関：**1,154か所**

[7月8日時点]

区別の医療機関数		[50音順]
青葉 (97)	旭 (60)	泉 (42)
磯子 (47)	神奈川 (79)	金沢 (64)
港南 (68)	港北 (108)	栄 (26)
瀬谷 (29)	都筑 (74)	鶴見 (82)
戸塚 (89)	中 (63)	西 (46)
保土ヶ谷 (68)	緑 (55)	南 (57)

※検査が受けられる医療機関をお探しの方に対しては、新型コロナウイルス感染症コールセンターで、紹介可能な医療機関（363か所）をご案内しています。

(3) 自宅療養者への対応について

<重点観察対象者の定義>

- **65歳以上**もしくは**2歳未満**
- **妊娠**している（年齢に関わらず）
- 40～64歳で**重症化リスク因子***あり

*慢性呼吸器疾患・慢性腎疾患・悪性腫瘍・糖尿病・肥満（BMI30以上）・
免疫抑制剤等の使用により免疫の機能が低下している恐れのある方・
新型コロナウイルスワクチンの2回接種を終えていない方 等

該当する

「**重点観察対象者**」
優先してフォローアップ行います

該当しない

「**非重点観察対象者**」
デジタル療養となります
【相談窓口】
・体調悪化時：「コロナ119」
（LINE等登録時にご案内）24時間対応
・その他のご相談：「療養サポート窓口」
（LINE等登録時にご案内）9時～21時

【療養期間】

- 症状がある方：発症日（0日）から10日目まで
- 無症状の方：検査日（0日）から7日目まで

◆ご自宅で療養される**すべての方**に、**LINEまたはAiコールによる健康観察**を実施しています。

(3) 自宅療養者への対応について

重点観察対象者となる方へ提供している療養サービス

- パルスオキシメーター（酸素飽和度を測定する機器）の配送・貸与
- 配食サービスの提供（希望される方）※神奈川県実施
- LINEまたはAiコールによる1日1回の健康観察
- 状況に応じて電話による健康観察
- 健康観察の情報が確認できない方には電話による安否確認
- 夜間や急な体調不良時にはコロナ119番へ連絡いただくことで医師等が対応
- 療養期間終了後に療養証明書を発行（希望される方）

(4) 高齢者施設への対策強化

<これまでの対応>

- ・ 新型コロナウイルスワクチンの前倒し接種
- ・ Y-A-E-I-T（ワイエイト）による立ち入り調査と幅広い検査
- ・ 保健所と施設所管課による感染拡大の防止の取組指導

<上記に加えて>

- ・ 陽性者発生時、ただちに抗原検査キット（全員分）を配付
- ・ 高齢者施設へ抗原検査キットを追加配付（約6.6万個）
- ・ 協力医療機関等を確保できない高齢者施設に対する医療支援等の更なる強化

(1) 横浜市のワクチン接種状況

【資料12】
<ワクチン接種特別チーム>

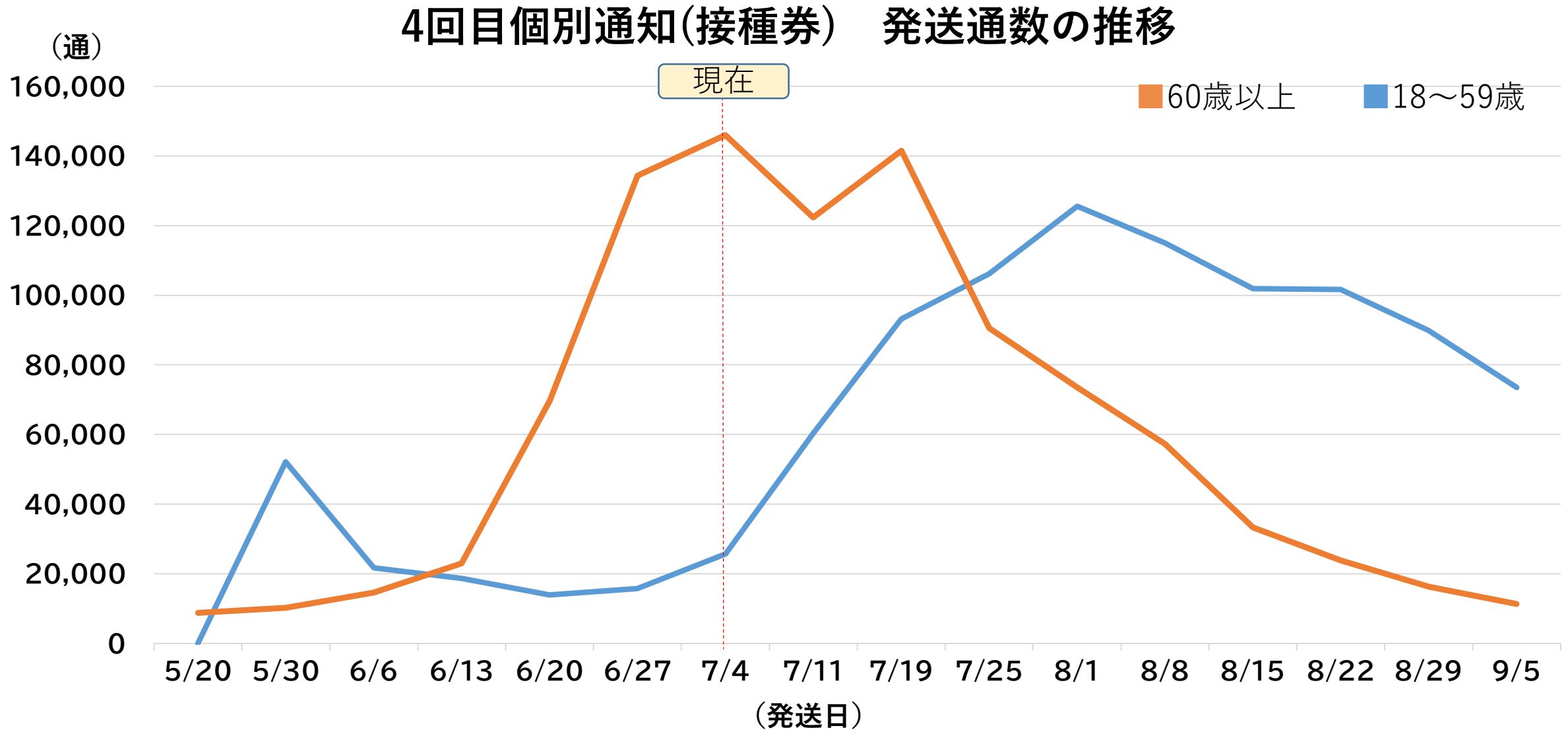
令和4年7月6日時点

	2回目接種	3回目接種
0歳以上の全人口に対する接種率	81.0%	61.5%
12歳以上の人口に対する接種率	89.4%	67.8%
12～64歳接種率	85.6%	59.5%
65歳以上接種率	96.6%	90.1%

※ 4回目接種者数：15,120人（令和4年7月6日時点）

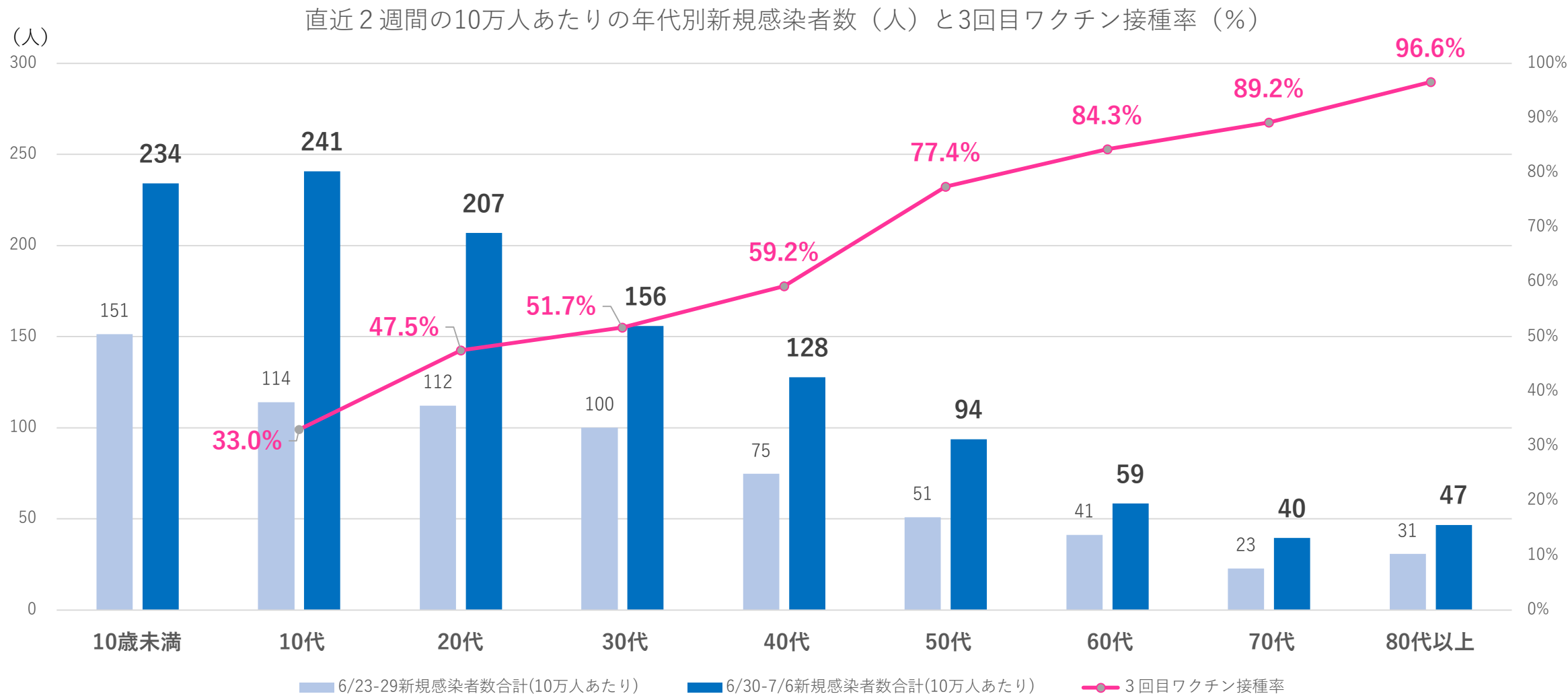
※令和3年1月1日の住民基本台帳に基づく人口を分母【0歳以上：3,759,920人 ・ 12歳以上：3,405,392人】

(1) 横浜市のワクチン接種状況

【資料12】
<ワクチン接種特別チーム>

※各発送日の発送通数、発送スケジュールは予定であり、今後、変動する場合があります。

(2)直近2週間の年代別新規感染者数と3回目ワクチン接種率

【資料13】
<ワクチン接種特別チーム>

【年代別感染者数】 感染者数は、時点ごとの速報値であり、今後、数変動する可能性があります。

【ワクチン接種率】 ・令和3年1月1日の住民基本台帳に基づく人口を分母【0歳以上：3,759,920人 ・12歳以上：3,405,392人】
 ・令和4年7月5日時点のVRS登録データを基に計算

(3) ワクチン接種促進の取組

【3回目接種促進に向けた取組】

《接種機会の拡大》

- ・ノババックスワクチンの接種実施(6/3～)、接種場所の拡大(7/11～)

《接種勧奨》

- ・WEBチラシ・ポスター等による勧奨・大学等への個別訪問
- ・若年層の接種促進に向けて制作した動画の継続放映・放映先の新規開拓(JR横浜駅構内等)
- ・企業・各種団体等を通じた接種促進

※これまでの取組

- ・接種勧奨動画の放映（デジタル広告、交通広告、商業施設、映画館、スポーツイベント、公共施設、大学）
- ・広報よこはま、タウンニュース、ワクチンニュース、ハマナビ等でのPR

【4回目接種促進に向けた取組】

- ・高齢者施設等における早期接種の勧奨
- ・重症化しやすい対象や生活習慣（妊娠、喫煙、運動不足）の周知による接種促進
- ・企業・各種団体等を通じた接種促進

※4回目接種対象者の拡大に向けた国への働きかけ

(3) ワクチン接種促進の取組

■ 4 回目接種の対象者

- ・ 60歳以上の方（全員）
- ・ 18～59歳で
 - ① 基礎疾患を有する方
 - 慢性の**呼吸器**、**心臓病**（**高血圧**を含む）、**腎臓病**など
 - 基準（BMI30以上）を満たす**肥満**の方
 - ② その他重症化リスクが高いと医師が認める方
 - **妊娠**、**喫煙**、**運動不足**など

※ 接種券は3回目接種から5か月を経過した**18歳以上の方全員**に、接種が可能となる約3週間前に順次発送しています。

対象となる方は、
接種券が届き次第すぐに予約できますので、
積極的な接種をご検討ください。

4 対策のポイント

1. コールセンター体制を第6波ピーク時と同等に増強
2. 市内1,154医療機関における検査・診療体制の確保
3. コロナ専門病院(はじめ病院)における中和抗体療法の積極的な取組
4. 高齢者施設への対策強化(抗原検査キットの追加配付等)
5. 区福祉保健センターの体制強化による確実な自宅療養者支援
6. 若年層を中心とした3回目ワクチン接種の促進と4回目接種対象者の拡大に向けた国への働きかけ

本部長指示

以上